

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者一人ひとりの人格を尊重しその人らしく暮らしていけるように事業所氏や独自の理念をつくり各ユニット出入口、記録室に掲示し日頃から理念の実践に取り組んでいる	○ 継続
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニット出入口、記録室に掲示し日頃から理念の実践に取り組んでいる	○ 継続
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	各ユニット出入口、記録室に掲示し日頃から理念の実践に取り組んでいる	○ 継続
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会による町内一斉清掃の参加 九十九里町商工会入会 門扉は設置せず外部からの出入りは自由に出来る様にしている。犬を飼っていて散歩に行く時は利用者も一緒に行くようにしている。	○ 継続
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	九十九里町民体育祭 町芸能祭り 町文化祭等の見学、町保育所、近隣の託児所のお誕生会、ひなまつり クリスマス会での交流をを図っている。	○ 継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる		○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価結果をもとに地域への参加を強化する為、町商工会に入会個人に合った食事の提供を図っている。	○	継続
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月1回開催し委員との交流及び情報交換をしている。	○	継続
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の変更、更新申請を代行を行い待ち役場に出向く機会を多くして町高齢福祉担当との交流を保っている。	○	継続
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修への参加を促し職員全員が理解出来る様に指導中 利用者御家族 キーパーソンからの相談は現在のところでは施設長が担当している。	○	継続
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	抑制による虐待は皆無である施設の理念では抑制廃止である。研修への参加をして虐待の意味を職員は理解している。	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要説明事項、運営規程にのっとり利用者、家族に十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	○	継続
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常生活の中から個人の状態を観察しながら個人がなにを求めているのかを察知し、職員と必要時は家族を交えて意見交換を行い快い生活を営む事が出来る様にしている。</p>	○	継続
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の利用者生活状況お知らせのお手紙にイベントで写した写真を同封してお元気な様子をお知らせしている。御家族、キーパーソンからは好評を頂いている。</p>	○	継続
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情窓口を設置し常時、意見、不満、苦情の受入れる状態を保っている。その内容については必要な事は職員全体に周知、話し合い結果を苦情下に報告している。</p>	○	継続
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティング、毎月の職員カンファレンスにて意見交換し各ユニットの問題解決し運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	○	継続
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>認知症症状の進行あり、昼夜逆転したり帰宅願望があり無断離設が重なり夜勤1人での対応困難のため24時間勤務を導入した。事務長と理事長と話し合い手当ても確保している。</p>	○	継続
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員移動は殆んどせず各ユニットの介護力不足のため支援が充分に行き届かない時は一方のユニットから応援を出している。</p>	○	継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	継続
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	継続
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	継続
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	○	継続
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	○	継続
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホーム利用時は他の介護サービスをうける為には全てが自己負担になり利用者の負担を軽減する為他のサービス利用は行っていない。	○	継続
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の生活状況を御家族あるいは関係者より聴取し個人担当職員を決定している。グループホームの場合入所と同時に環境が変化するので本人と話し合いながら徐々に慣れていくようにしている。	○	継続
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の出来る事は職員と一緒に(食事の準備、後始末、洗濯物干し、取り入れ、たたみ等)しながら親 夫 子供 兄妹の事を話したりこれまでの人生の事を聞いたりして泣いたり、笑ったりしている。	○	継続
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている		○	継続
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月のグループホーム便りに日々の生活ぶり、イベント参加状況、お小遣いの使用状況等をお知らせしてこれまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○	継続
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人情報保護法に基づき個人の保護範囲内において御家族、利用者本人の承諾を得た方のみ面会可能。	○	継続
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	居室が個室の為食事はリビングで全員が同じ時間に摂ることで利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設移動、居宅介護サービスに変更された方は移動変更初期には手紙や面会に行き断続的な関わりを持ち落ち着いた常態が確認できたら経過観察とし医療施設に入院した場合は毎日1回面会に行き出来るだけ早い退院支援をおこなっている。	○	継続
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	消灯時間、起床時間、食事時間の強制はせず個人の生活パターンを重視している。	○	継続
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に施設見学 面接を行いグループホームの内容を理解して頂き入所の決定をし入所後は御家族、キーパーソンと密な連絡を取り合い、時には利用者と同じ食事をしていただく事もしている。又、入所前のお泊り体験も取り入れている。	○	継続
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個人情報保護法に基づき個人の保護範囲内において御家族、利用者本人の承諾を得た方のみ面会可能。	○	継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各勤務帯において申し送りから問題点を話し合いケアマネ中心にスタッフと情報交換し個人の為により良い介護計画を作成している。毎月のカンファレンスで介護計画の見直しが必要なケースカンファを行なっている。	○	継続
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	上記に続き介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過は個人記録に残している。各勤務態で申し送りを行ない記録情報を共有しながら介護提供に生かしている。	○	継続
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体医療機関に医療連携契約をしている。毎月1回訪問診療があり健康管理を行なっている、毎週1回の訪問歯科では、口腔ケア、歯の健康状態管理をしている。お誕生月には健康診断をお願いしている。	○	継続
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	御家族、キーパーソンの同意を得た上で必要な個人の情報を地域の学校、コンビニ、庁舎、消防、警察、に届ける事している。地域密着型になり地域住民である為、ホーム利用を隠している事があり地域資源との協働には十分な配慮を必要とするケースもある。	○	継続
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険によるサービスを利用するには個人負担が増えるのでグループホームで出来る事しているが母体医療機関に医療連携契約をしている。毎月1回訪問診療があり健康管理を行なっている、毎週1回の訪問歯科では、口腔ケア、歯の健康状態管理をしている。	○	継続
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	個人情報保護法に基づき個人の保護範囲内において御家族、利用者本人の承諾(承諾可能な方)を得たうえで今後の事、経済的な心配不安等の相談をするように説明又権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○	継続
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療連携医療施設において健康に障害が起きたり転倒により受傷したときは時間に制限無く受診は可能になっており。本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に精神科専門病院があるので専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	○	継続
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が看護師の常勤の為、利用者、職員の健康管理利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	○	継続
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院後は毎日、ケアマネ、管理者、リーダー、のうち1名が病院訪問し、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している入院中も許可を貰ってグループホームで日中を過ごせるようにしている。	○	継続
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に看取り介護希望の有無を確認を聴き取り終末期の過ごし方のご希望を確認させて頂き終末期診断を受けた時には改めて契約をしている。看取り介護については職員全員で方針を共有している	○	継続
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入所時に看取りについての説明をさせて頂いている。事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	○	継続
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人がグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、移動先の訪問見学を利用者と職員と一緒に行き内容を把握してから移動にとりくんでいる。住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	○	継続

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録は個人別に行い一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行なっている。	○ 継続
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	介護計画実践時は個人の希望を受け入れてその時の状態に合わせて支援している。	○ 継続
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個人の生活パターンに合わせて食事時間の選択は自由に行っているが入浴に関しては職員の都合で時間、曜日をきめている。	○ 継続
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	個人のご希望があるときは職員が送迎をしている。他の方の身だしなみについては二ヶ月に1度理容師に施設まで出張してもらっている。1回2千円の実費支払いとしている。	○ 継続
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備後始末(食器洗い、収納)野菜の娶り、等お手伝い可能な方にはお願いしている	○ 継続
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者で喫煙者はいないが喫煙室は用意している本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせてお買い物し御本人様として預かり日常的に希望した時間を楽しめるよう支援している	○ 継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個人の状況に合わせてオムツ、尿とりパット等の汚染をしまう前に排泄誘導を行いトイレでの排泄が出来る様に支援している	○	継続
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については職員の業務時間に合わせて行なっているが入浴時間の制限はしていない	○	継続
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	安眠や休息の支援は就寝時間、起床時間を定めていない昼間のお昼ねについても制限はしていない。夜間不眠の方には眠剤の処方をお願いしている。	○	継続
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備後始末(食器洗い、収納)野菜の娶り、等お手伝い可能な方にはお願いしている縫い物の得意な方にふきん雑巾等の作成をお願いしている。	○	継続
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	者取られ おき忘れ 状態にある個人については、お金を所持することはなく事務所預かりにしている其の方については御家族お見えの際に内緒で個人に持たせてお帰りになる事もあり無理にお預かりせず成り行きに任せている	○	継続
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や天候に合わせて九十九里浜、公園お花見 近隣の小学校のグラウンド 役場 郵便局等散歩、ドライブ等で楽しめるように支援している。	○	継続
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節や天候に合わせて九十九里浜、公園お花見 近隣の小学校のグラウンド 役場 郵便局等散歩、ドライブ等で楽しめるように支援している。	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話設置 年賀状の作成等で家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○	継続
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	出入口の施錠の開放、門柱も無く家族や馴染みの人の訪問は事由に出来る様になっているが訪問時は面会簿に訪問者の記入をお願いしている。	○	継続
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り 見回りに重点を置き拘束はしていないが夜間ベッドから転落が予測される利用者については就眠を確認したうえでベッド柵のみ付けている。	○	継続
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	出入口の施錠の開放、門柱も無く家族や馴染みの人の訪問は事由に出来る様になっているが訪問時は面会簿に訪問者の記入をお願いしている。	○	継続
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守り 見回りに重点を置き昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○	継続
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ガス製品、点火製品は設置せずオール電化にしている。ライターの持ち込みを禁止している。お風呂は当日入浴介護の終わり次第施錠して水害事故の防止をしている。	○	継続
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	居室内に火災元の原因になる物は置いておかず、転倒、転落、予防はベット柵に鈴をつけている。。窒息、誤薬予防には職員の観察視野以内で行なっている。	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命研修に順次参加し職員全員が終了している。事故発生時、急変時対応マニュアルを作成、直面しても慌てない様に周知、熟知するようにしているがその場面に直面すると慌てている事が多い。	○	継続
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防災訓練(消防隊、火災報知機設置業者も同時参加)を施行、当日は利用者も全員参加している 消防隊の訓練評価は良好である。	○	継続
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所契約時に一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、発生時にはその都度、家族に電話連絡をしている。	○	継続
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	肺炎ワクチン利用者全員接種済み、インフルエンザワクチン全員接種、健康診断年1回御誕生月に医療連携協力機関において施行、バイタル測定をして一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○	継続
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	院外薬局と契約し薬剤管理をお願いしている内服効能書きを頂き個人のファイルに保管、利用者一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○	継続
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	常習の便秘には下剤服用、朝牛乳飲用、不定期便秘には状態に応じて医療機関受診している。	○	継続
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内清潔は毎食後入れ歯洗浄、嗽を行なう事で保持している、週1回の歯科訪問で管理指導を受けている。外出から戻った時は必ず嗽を励行している。	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の接種量と月1回の体重測定を個人ファイルに記載その変化を把握し一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○	継続
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	入所時検査として入所直前(居宅から入所の時)医療機関入院して健康チェックをしてから入所、または入所後検査(他の施設からの転入の時)不足分の感染症チェックを行なっている。	○	継続
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の搬入は業者に依頼(前日に翌日分を搬入)人数分の材料なので残り食材はなく食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○	継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	飼犬がいて近くの小学生や散歩中の地域住民のよりどころになっている門柱も無く玄関は、出入り自由になっている。駐車場入り口に花を植えて近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	○	継続
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には椅子を準備していつでも坐る事ができるようにしている テレビ観賞は自由にできる。畳にはコタツを置いていたが足元が危険の為現在は取り外している 冷暖房の調整は職員がおこなっている。	○	継続
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室は全室個室構成の為1人になれる空間は確保できている。居室訪問も当に同士に任せているが迷惑の訴えがある時は職員が調整している。」	○	継続

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室で使用していたタンスや小物等の持ち込み使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○	継続
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房により 施設内の温度は常に調節し、季節を通して一定の温度を保つようにしている。日中の換気は窓を開けて行っている	○	継続
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物構造はバリアフリーの為足元の安全を保っている	○	継続
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者が自立している事は見守りして事故防止に努力している。	○	継続
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花壇の手入れ 草取りをボランティアを交えて行っている	○	継続

.サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)